

2016年広島マスターズ陸上競技記録会実施要項

1. 主催 広島マスターズ陸上競技連盟
2. 後援 (一財) 広島陸上競技協会
3. 主管 尾道市陸上競技協会 広島マスターズ陸上競技連盟
4. 期 日 2016年(平成28年)10月30日(日)雨天決行
 受付 8時 開会式 9時
 競技開始 10時(競技終了予定 15時) 閉会式 15時(予定)
5. 会 場 広島県立びんご運動公園陸上競技場 722-0022 広島県尾道市栗原町997番地
 Tel 0848-48-5446 Fax 0848-48-5448
6. 競技種目 トラック競技 60m 100m 400m 800m 3000m
 80mH(男子70才以上, 女子40才以上)
 100mH(男子50才~69才, 女子39才以下)
 110mH(男子49才以下)
 フィールド競技 走幅跳, 走高跳, 砲丸投, 円盤投, 槍投
7. 競技方法 トラック競技・・・年齢順を基に組み合わせを行う。
 フィールド競技・・・年令クラス(5才刻)で競技を行う。投てき, 走幅跳の試技は3回
8. 競技規則 2016年度(一財)日本陸上競技連盟規則・(公社)日本マスターズ陸上競技連合規則及び
 広島マスターズ陸上競技記録会要項による。

投てき競技の用具の使用基準, ハードルの設置基準は次の表による。

	クラス	砲丸	円盤	槍
男子	~M45	7.260kg	2.0kg	800g
	M50~M55	6.0kg	1.5kg	700g
	M60~M65	5.0kg	1.0kg	600g
	M70~M75	4.0kg		500g
	M80~	3.0kg		400g
女子	~M45	4.0kg	1.0kg	600g
	M50~M55	3.0kg		500g
	M60~M70		2.0kg	400g
	M75~	0.75kg		

	種目	高さ	第1ハードルまで	間隔	ゴールまで	台数	
男子	~M45	110mH	0.991m	13.72m	9.14m	14.02m	10
	M50~M55	100mH	0.914m	13.00m	8.50m	10.50m	
	M60~M65		0.840m	12.00m	8.00m	16.00m	
	M70~M75	80mH	0.762m	12.00m	7.00m	19.00m	8
	M80~		0.686m				
女子	~M35	100mH	0.840m	13.00m	8.50m	10.50m	10
	M40~M45	80mH	0.762m	12.00m	8.00m	12.00m	8
	M50~M55				7.00m	19.00m	
	M60~						

※ 0.686mは小学生基準0.700m使用可

9. 参加資格 2016年度(公社)日本マスターズ陸上競技連合の登録者とする
10. 参加種目 一人の参加できる種目数は制限しない
11. 参加料 (1) 1種目 1,000円、2種目 1,500円、3種目 2,000円
 以後1種目につき 500円を加算する
 (2) 一日スポーツ傷害保険料を含む
 (3) 受付後に参加申し込みの取り消しをしても一切返金しない

12. 申込方法 所定の用紙に必要事項を記入し、下記に申し込むこと。
 ※指定の郵便振替用紙は参加申し込み用紙になっています。
 ※所定の郵便振替用紙がない場合は、郵便局に備え付けの振替用紙に
 ①記録会名 ②登録番号 ③性別 ④生年月日(西暦)
 ⑤記録会当日の年齢 ⑥出場種目を記入のこと。
 なお、名前にはフリガナをお願いします。
 (1) 申込期限 2016年(平成28)年9月30日(金)(必着)
 (2) 申込宛先 広島県庄原市総領町稲草2051-2
 2016広島マスターズ陸上競技記録会実行委員会事務局
 滝口和博 TEL・fax 0824-88-2284 携帯電話 090-4578-4288
 (3) 送金方法 郵便振替(振替番号) 記号・番号 01380-9-100836 広島マスターズ競技連盟

13. 競技順序

	トラック	跳躍	投てき
午前	1. 100m (10:00~11:10) 2. 3000m (11:15~12:00)	1. 走幅跳 (10:00~12:00)	1. 砲丸投 1) ~M55 10:00~ 2) M60~M70 11:00~ 3) M75~・女子 12:00~
午後	3. 800m (12:10~12:35) 4. 60m (12:40~13:50) 5. 400m (13:55~14:25) 6. 110mH・100mH・80mH (14:30~15:00)	2. 走高跳 (12:30~13:30)	2. 円盤投 1) M60~M70 10:00~ 2) M75~・女子 11:00~ 3) ~M55 12:00~ ※砲丸投・円盤投を同時に行う 3. 槍投 1) ~M55 11:00~ 2) M60~M70 12:00~ 3) M75~・女子 13:00~

※タイムテーブルは広島マスターズHPに、10月12日(水)掲載予定

14. 記録証 競技者に記録証を発行し、成績を競技場玄関に掲示する。また後日HPに掲載する。
15. 留意事項 (1) 参加者は事前に健康診断を受けるなどして、自己の健康に十分留意すること
 (2) 競技中の傷害等については、主催者は救急処置を行うが、以後の責任は問わない。
 (3) 主催者は参加者に対してスポーツ傷害保険に加入するが、参加者は健康保険証を持参すること。なお競技中に発生した傷害等は、発生直後に本人が大会本部に申し出る。後日の申告については受け付けない。
 (4) 参加者は競技規則及びマナーを厳守し、お互いに気持ち良い大会になるよう努めること。
 (5) ゴミは各自で持ち帰ること。(「来た時よりも美しく」)
16. 胸背部のナンバーカード 各自の登録ナンバーカードと安全ピンを持参して着用する。
17. 記録会への問合せ先
 滝口和博 090-4578-4288 波多伸樹 090-5697-5779
 黒木潤 090-9067-9629 木原三郎 080-3887-4722
18. 誓約事項 私は、自己の健康管理に十分注意を払い、大会要項及び注意事項を厳守して、競技中に発生した傷害事故に対し応急処置は受けますが、それ以降は主催者に一切の責任を負わせません。このことは家族も同意しています。
19. 役員依頼 記録会に参加されない広島マスターズ会員は、上記実行委員会へ「大会役員」として参加する旨の連絡をください。
 実行委員会から競技役員の依頼をします。ご協力よろしくをお願いします。

競 技 者 注 意 事 項

1. 本大会は2016年度（一財）日本陸上競技連盟規則・（公社）日本マスターズ陸上競技連合規則、並びに本大会要領により、運営する。
2. 招集について
 - 1) 競技に出場する者は招集完了時刻までに、招集所で次の順で手続きを行うこと。
 - ①出場種目のスタートリスト（招集所に提示）に記載されている自分のナンバーカードを○囲みする。
 - ②トラック競技は、競技者係から「腰標識」（右腰に付着）を受け取る。
なお3000mでは、主催者の準備した「胸ナンバーカード」（胸部に付着）も併せて受け取る。
フィールド競技は、①の手続きのみでよい。
 - ③手続きを終えた競技者は、トラック競技は競技開始10分前までにはスタート地点へ、フィールド競技は競技開始20分前までには競技場所へ、移動し、トラック競技では出発係の最終点呼を受けスタートに備え、フィールド競技では審判員の最終点呼を受け公式練習（2回）を行う。
 - 2) 招集時間
トラック競技は、競技開始の30分前から招集を開始し、20分前に完了する。
フィールド競技は、競技開始の40分前から招集を開始し、30分前に完了する。
時間内に招集を受けないと、競技への参加はできない。
なお2種目以上を同時に兼ねて出場する場合は、上記に関わらず90分前から行うことができる。
 - 3) 招集場所は、陸上競技場平面図中⑧（選手更衣室4）に設ける。（競技場 第4コーナーの砂場付近）
3. 競技用具について
 - 1) 競技用具は主催者が用意したものを使用する。ただし個人所有の用具（砲丸・円盤・やり）を使用する場合は、その競技開始時間の1時間前に、審判員の検定を受け承認を得る。
 - 2) ハードル走において、0.686mの高さは、本大会では0.700mのハードルを使用する。
 - 3) スパイクピンは、トラック競技は全天候用7mm以下、フィールド競技は同9mm以下の平行ピンとする。
4. トラック競技は、参加者各自の自己記録を基に組み合わせを行い、タイムレースとする。
5. スタート合図は、「On Your marks(オン マークス)」（位置について）、「Set(セット)」（用意）を用いる
6. 不正スタートについては、1回目の時は全員に警告する。それ以降の不正スタートはすべて失格とする。
7. 走幅跳・投てき競技の試技数は3回とする。
8. 走高跳のバーの上げ下げは、審判員の指示で行う。
9. 練習は、審判員の指示に従うこと。原則として競技中は本競技場外を使用すること。
10. 競技記録について
 - 1) 各種目（各クラス毎）の記録は、年令クラス別のマスターズ公認記録とする。
 - 2) 追風2.0m/秒を超える記録は参考記録として扱い公認記録とならない。
走幅跳は、一番良い記録が追風参考の場合には、次に良い公認記録があれば、二つを併せて日本マスターズ陸上競技連盟に提出する。
 - 3) 各種目の成績は競技場玄関に掲示するとともに、記録証を発行する。
11. 競技者は、胸背部に必ずナンバーカードを付着する。
 - 1) 各自の手元にある登録ナンバーカードと安全ピン8本を持参する。
 - 2) トラック競技では、「腰標識」（主催者準備）を右腰に付着する。
 - 3) 3000mでは、2)に加え、主催者の準備した別「胸ナンバーカード」を付着する。
 - 4) 走高跳は、胸部または背部のどちらかでもよい。
12. 競技中の事故について
 - 1) 競技中に発生した時は、本部の医務員へ急報し応急処置を受けること。
 - 2) 主催者は応急処置をするが、以後は一切責任を負わないので、各自で十分注意をする。
 - 3) スポーツ傷害保険の手続き上、負傷者は事故発生時に大会本部に申し出る。（後日の申告は受け付けない）
14. ゴミは各自で持ち帰ること。（「来た時よりも美しく」）